

# 古文「助詞」総合識別 100題ドリル

対象：高校生・大学受験生 | 著作権：誰でも古典塾 (kotennosensei.com) 無断転載禁止

## はじめに

助詞は**6種類**。それぞれ文の中で違う働きをします。このドリルは、傍線部の助詞が**どの種類か**を、ア～カの6つから選ぶ総合問題です。助動詞まとめドリルの“相方”として、助詞の全体像を総ざらいしましょう。

記号	種類	主な助詞と働き
ア	係助詞	は・も・ぞ・なむ・や・か・こそ (強調・疑問。係り結びを起こす)
イ	格助詞	が・の・を・に・へ・と・より・から・にて・して (体言に付き、文中の役割を示す)
ウ	接続助詞	ば・とも・ど・ども・て・して・で・つつ・ながら (活用語に付き、前後をつなぐ)
エ	副助詞	だに・すら・さへ・のみ・ばかり・など・まで・し・しも (意味を添える)
オ	終助詞	ばや・なむ・もがな・かな・な・そ・かし (文末で気持ちを表す)
カ	間投助詞	や・よ・を (語調を整える。主に和歌)

**鉄則 (同じ音でも「接続＝直前の語」で種類が決まる)** - 「が」「を」「に」… 体言に付けば**格助詞 (イ)** / 活用語 (連体形など) に付けば**接続助詞 (ウ)**。 - 「して」… 体言に付けば**格助詞 (イ)** (手段・人数) / 連用形に付けば**接続助詞 (ウ)**。 - 「なむ」… 文中で係り結び (連体形で結ぶ) なら**係助詞 (ア)** / 未然形に付いて「～してほしい」なら**終助詞 (オ)**。 - 「な」… 文末で「～するな」と禁止すれば**終助詞 (オ)**。「な～そ」の「そ」も終助詞。

## 🎯 解き方のコツ

- 傍線部の助詞の**直前の語**を見る (体言か、活用語か。活用語なら何形か)。
- 体言+が・を・に・して → **格助詞 (イ)**。活用語+が・を・に・して → **接続助詞 (ウ)**。
- ぞ・なむ・や・か・こそ・は・も が文中で強調・疑問を表す → **係助詞 (ア)**。
- だに・すら・さへ・のみ・ばかり・など・まで など意味を添える → **副助詞 (エ)**。
- 文末で願望・詠嘆・禁止 (ばや・なむ・もがな・かな・な・そ・かし) → **終助詞 (オ)**。
- や・よ・をが語調・詠嘆 (主に和歌) → **間投助詞 (カ)**。

## 採点表

部	問題	目標
第1部 基礎	Q1～Q20	18／20
第2部 標準	Q21～Q50	24／30
第3部 応用	Q51～Q80	21／30
第4部 入試	Q81～Q100	13／20

### 【第1部】基礎 (Q1～Q20)

Q1. 次の傍線部「ぞ」の種類は、ア～カのどれか。

山里ぞさびしき。 答え：ア 解説：強意の係助詞「ぞ」。文末を連体形「さびしき」で結ぶ。係助詞。

Q2. 次の傍線部「なむ」の種類は、ア～カのどれか。

月なむ出づる。 答え：ア 解説：強意の係助詞「なむ」。文末を連体形「出づる」で結ぶ。係助詞。

Q3. 次の傍線部「や」の種類は、ア～カのどれか。

これや夢なる。 答え：ア 解説：疑問の係助詞「や」。文末を連体形「なる」で結ぶ。係助詞。

Q4. 次の傍線部「か」の種類は、ア～カのどれか。

いづれかよき。 答え：ア 解説：疑問の係助詞「か」。文末を連体形「よき」で結ぶ。係助詞。

Q5. 次の傍線部「こそ」の種類は、ア～カのどれか。

花こそ散れ。 答え：ア 解説：強意の係助詞「こそ」。文末を已然形「散れ」で結ぶ。係助詞。

Q6. 次の傍線部「は」の種類は、ア～カのどれか。

花は咲く。 答え：ア 解説：取り立ての係助詞「は」。他と区別して示す。係助詞。

Q7. 次の傍線部「の」の種類は、ア～カのどれか。

君の家を訪ぬ。 答え：イ 解説：体言「君」に付く連体修飾の格助詞「の」。格助詞。

Q8. 次の傍線部「を」の種類は、ア～カのどれか。

月を見る。 答え：イ 解説：体言「月」に付き、動作の対象を示す格助詞「を」。格助詞。

Q9. 次の傍線部「に」の種類は、ア～カのどれか。

都に行く。 答え：イ 解説：体言「都」に付き、場所・方向を示す格助詞「に」。格助詞。

Q10. 次の傍線部「へ」の種類は、ア～カのどれか。

山へ登る。 答え：イ 解説：体言「山」に付き、方向を示す格助詞「へ」。格助詞。

Q11. 次の傍線部「と」の種類は、ア～カのどれか。

友と遊ぶ。 答え：イ 解説：体言「友」に付き、共同の相手を示す格助詞「と」。格助詞。

Q12. 次の傍線部「より」の種類は、ア～カのどれか。

都より来たる。 答え：イ 解説：体言「都」に付き、起点を示す格助詞「より」。格助詞。

Q13. 次の傍線部「ば」の種類は、ア～カのどれか。

春来れば、花咲く。 答え：ウ 解説：已然形「来れ」に付く順接の接続助詞「ば」。前後をつなぐ。接続助詞。

Q14. 次の傍線部「ども」の種類は、ア～カのどれか。

待てども来ず。 答え：ウ 解説：已然形「待て」に付く逆接の接続助詞「ども」。接続助詞。

Q15. 次の傍線部「て」の種類は、ア～カのどれか。

花咲きて散る。 答え：ウ 解説：連用形「咲き」に付く単純接続の接続助詞「て」。接続助詞。

Q16. 次の傍線部「つつ」の種類は、ア～カのどれか。

月を見つつ歩く。 答え：ウ 解説：連用形「見」に付く反復・継続の接続助詞「つつ」。接続助詞。

Q17. 次の傍線部「だに」の種類は、ア～カのどれか。

水をだに飲まず。 答え：エ 解説：最小限・類推の副助詞「だに」。「水さえも飲まない」と意味を添える。副助詞。

Q18. 次の傍線部「のみ」の種類は、ア～カのどれか。

ただ泣くのみ。 答え：エ 解説：限定の副助詞「のみ」。「ただ～だけ」と意味を添える。副助詞。

Q19. 次の傍線部「ばや」の種類は、ア～カのどれか。

かの人に会はばや。 答え：オ 解説：未然形「会は」に付く自己願望の終助詞「ばや」。「～したい」。終助詞。

Q20. 次の傍線部「かな」の種類は、ア～カのどれか。

あはれにも悲しきかな。 答え：オ 解説：文末で詠嘆を表す終助詞「かな」。「～だなあ」。終助詞。

## 【第2部】標準 (Q21～Q50)

Q21. 次の傍線部「も」の種類は、ア～カのどれか。

花も散る。 答え：ア 解説：同類を添える係助詞「も」。係助詞。

Q22. 次の傍線部「が」の種類は、ア～カのどれか。

君が代を祝ふ。 答え：イ 解説：体言「君」に付く連体修飾の格助詞「が」。格助詞。

Q23. 次の傍線部「から」の種類は、ア～カのどれか。

門から入る。 答え：イ 解説：体言「門」に付き、経由・起点を示す格助詞「から」。格助詞。

Q24. 次の傍線部「にて」の種類は、ア～カのどれか。

舟にて渡る。 答え：イ 解説：体言「舟」に付き、手段を示す格助詞「にて」。格助詞。

Q25. 次の傍線部「とも」の種類は、ア～カのどれか。

たとひ散るとも惜しまじ。 答え：ウ 解説：終止形「散る」に付く逆接仮定の接続助詞「とも」。「たとえ～ても」。接続助詞。

Q26. 次の傍線部「ど」の種類は、ア～カのどれか。

呼べど答へず。 答え：ウ 解説：已然形「呼べ」に付く逆接の接続助詞「ど」。接続助詞。

Q27. 次の傍線部「で」の種類は、ア～カのどれか。

物も言はで、ただ泣く。 答え：ウ 解説：未然形「言は」に付く打消接続の接続助詞「で」。「～ないで」。接続助詞。

Q28. 次の傍線部「ながら」の種類は、ア～カのどれか。

笑ひながら語る。 答え：ウ 解説：連用形「笑ひ」に付く同時並行の接続助詞「ながら」。接続助詞。

Q29. 次の傍線部「すら」の種類は、ア～カのどれか。

大人すら惑ふ。 答え：エ 解説：類推の副助詞「すら」。「大人でさえ」と意味を添える。副助詞。

Q30. 次の傍線部「さへ」の種類は、ア～カのどれか。

雨に風さへ吹く。 答え：エ 解説：添加の副助詞「さへ」。「～までも加わって」。副助詞。

Q31. 次の傍線部「ばかり」の種類は、ア～カのどれか。

三日ばかり経たり。 答え：エ 解説：程度・おおよそを示す副助詞「ばかり」。副助詞。

Q32. 次の傍線部「など」の種類は、ア～カのどれか。

花など見て遊ぶ。 答え：エ 解説：例示の副助詞「など」。「～などを」。副助詞。

Q33. 次の傍線部「もがな」の種類は、ア～カのどれか。

心知れる友もがな。 答え：オ 解説：文末で願望を表す終助詞「もがな」。「～があればなあ」。終助詞。

Q34. 次の傍線部「な」の種類は、ア～カのどれか。

ゆめゆめ忘るな。 答え：オ 解説：終止形「忘る」に付き禁止を表す終助詞「な」。「～するな」。終助詞。

Q35. 次の傍線部「かし」の種類は、ア～カのどれか。

心して行け**かし**。 答え：オ 解説：文末で念押しを表す終助詞「かし」。「～よ、ね」。終助詞。

Q36. 次の傍線部「まで」の種類は、ア～カのどれか。

夜更くる**まで**待つ。 答え：エ 解説：限度を示す副助詞「まで」。「～まで」。副助詞。

Q37. 次の傍線部「ぞ」の種類は、ア～カのどれか。

われ**ぞ**知る。 答え：ア 解説：強意の係助詞「ぞ」。文末を連体形「知る」で結ぶ。係助詞。

Q38. 次の傍線部「こそ」の種類は、ア～カのどれか。

君を**こそ**待て。 答え：ア 解説：強意の係助詞「こそ」。文末を已然形「待て」で結ぶ。係助詞。

Q39. 次の傍線部「の」の種類は、ア～カのどれか。

花の散るを惜しむ。 答え：イ 解説：体言「花」に付き、主格「花が」を示す格助詞「の」。格助詞。

Q40. 次の傍線部「に」の種類は、ア～カのどれか。

暁に鳥鳴く。 答え：イ 解説：体言「暁」に付き、時を示す格助詞「に」。格助詞。

Q41. 次の傍線部「と」の種類は、ア～カのどれか。

花**と**散る。 答え：イ 解説：体言「花」に付き、比喻（～のように）を示す格助詞「と」。格助詞。

Q42. 次の傍線部「て」の種類は、ア～カのどれか。

笑ひ**て**言ふ。 答え：ウ 解説：連用形「笑ひ」に付く単純接続の接続助詞「て」。接続助詞。

Q43. 次の傍線部「ば」の種類は、ア～カのどれか。

風吹か**ば**、散りなむ。 **答え**：ウ **解説**：未然形「吹か」に付く順接仮定の接続助詞「ば」。「もし～ならば」。接続助詞。

Q44. 次の傍線部「や」の種類は、ア～カのどれか。

あな、うれし**や**。 **答え**：カ **解説**：詠嘆・語調を整える間投助詞「や」。係り結びは起こさない。間投助詞。

Q45. 次の傍線部「ながら」の種類は、ア～カのどれか。

涙を流し**ながら**語る。 **答え**：ウ **解説**：連用形「流し」に付く同時並行の接続助詞「ながら」。接続助詞。

Q46. 次の傍線部「のみ」の種類は、ア～カのどれか。

春を**のみ**待つ。 **答え**：エ **解説**：限定の副助詞「のみ」。「春だけを」。副助詞。

Q47. 次の傍線部「だに」の種類は、ア～カのどれか。

影**だに**見えず。 **答え**：エ **解説**：最小限・類推の副助詞「だに」。「影さえも見えない」。副助詞。

Q48. 次の傍線部「ばや」の種類は、ア～カのどれか。

いざ、都へ行か**ばや**。 **答え**：オ **解説**：未然形「行か」に付く自己願望の終助詞「ばや」。「～したい」。終助詞。

Q49. 次の傍線部「かな」の種類は、ア～カのどれか。

うれしき**かな**、この便り。 **答え**：オ **解説**：文末で詠嘆を表す終助詞「かな」。終助詞。

Q50. 次の傍線部「よ」の種類は、ア～カのどれか。

月よ、いかに見るらむ。 **答え：カ** **解説：**呼びかけ・詠嘆の間投助詞「よ」。語調を整える。間投助詞。

### 【第3部】 応用 (Q51～Q80)

Q51. 次の傍線部「が」の種類は、ア～カのどれか。

梅が枝に驚みる。 **答え：イ** **解説：**体言「梅」に付く連体修飾の格助詞「が」。「梅の枝」。体言接続なので格助詞。

Q52. 次の傍線部「が」の種類は、ア～カのどれか。

待ちつるが、つひに来ず。 **答え：ウ** **解説：**連体形「つる」に付く逆接の接続助詞「が」。「～が（しかし）」。活用語接続なので接続助詞。

Q53. 次の傍線部「に」の種類は、ア～カのどれか。

野に出でて遊ぶ。 **答え：イ** **解説：**体言「野」に付き場所を示す格助詞「に」。体言接続なので格助詞。

Q54. 次の傍線部「に」の種類は、ア～カのどれか。

門を出づるに、雨降りきぬ。 **答え：ウ** **解説：**連体形「出づる」に付く接続助詞「に」。「～と・～ところ」。活用語接続なので接続助詞。

Q55. 次の傍線部「を」の種類は、ア～カのどれか。

文をこまやかに書く。 **答え：イ** **解説：**体言「文」に付き対象を示す格助詞「を」。体言接続なので格助詞。

Q56. 次の傍線部「を」の種類は、ア～カのどれか。

頼むを、つれなくも音せず。 答え：ウ 解説：連体形「頼む」に付く逆接の接続助詞「を」。「～のに」。活用語接続なので接続助詞。

Q57. 次の傍線部「して」の種類は、ア～カのどれか。

二三人して詣でけり。 答え：イ 解説：体言「二三人」に付き、人数・共同を示す格助詞「して」。体言接続なので格助詞。

Q58. 次の傍線部「して」の種類は、ア～カのどれか。

あはれにして、涙とどまらず。 答え：ウ 解説：連用形「あはれに」に付く接続助詞「して」。活用語接続なので接続助詞。

Q59. 次の傍線部「なむ」の種類は、ア～カのどれか。

花なむ散りにける。 答え：ア 解説：強意の係助詞「なむ」。文末を連体形「ける」で結ぶ。係り結びなので係助詞。

Q60. 次の傍線部「なむ」の種類は、ア～カのどれか。

早く花咲かなむ。 答え：オ 解説：未然形「咲か」に付く他者願望の終助詞「なむ」。「～してほしい」。終助詞。

Q61. 次の傍線部「ばや」の種類は、ア～カのどれか。

いま一度ふるさつを見ばや。 答え：オ 解説：未然形「見」に付く自己願望の終助詞「ばや」。終助詞。

Q62. 次の傍線部「こそ」の種類は、ア～カのどれか。

命こそ惜しけれ。 答え：ア 解説：強意の係助詞「こそ」。文末を已然形「惜しけれ」で結ぶ。係助詞。

Q63. 次の傍線部「だに」の種類は、ア～カのどれか。

せめて夢にだに見えよ。 答え：エ 解説：最小限の副助詞「だに」。「せめて夢だけでも」。副助詞。

Q64. 次の傍線部「すら」の種類は、ア～カのどれか。

賢き人すら惑ふ。 答え：エ 解説：類推の副助詞「すら」。「賢い人でさえ」。副助詞。

Q65. 次の傍線部「さへ」の種類は、ア～カのどれか。

雨に、風さへ添ひぬ。 答え：エ 解説：添加の副助詞「さへ」。「風までも加わった」。副助詞。

Q66. 次の傍線部「ど」の種類は、ア～カのどれか。

いくたびも呼べど、答へなし。 答え：ウ 解説：已然形「呼べ」に付く逆接の接続助詞「ど」。接続助詞。

Q67. 次の傍線部「とも」の種類は、ア～カのどれか。

死ぬとも、屈せじ。 答え：ウ 解説：終止形「死ぬ」に付く逆接仮定の接続助詞「とも」。「たとえ～ても」。接続助詞。

Q68. 次の傍線部「で」の種類は、ア～カのどれか。

物をも食はで過ごす。 答え：ウ 解説：未然形「食は」に付く打消接続の接続助詞「で」。「～ないで」。接続助詞。

Q69. 次の傍線部「より」の種類は、ア～カのどれか。

山より出づる月を待つ。 答え：イ 解説：体言「山」に付き起点を示す格助詞「より」。格助詞。

Q70. 次の傍線部「にて」の種類は、ア～カのどれか。

道**にて**思はぬ人に会ふ。 **答え：イ** **解説：**体言「道」に付き場所を示す格助詞「にて」。格助詞。

Q71. 次の傍線部「ぞ」の種類は、ア～カのどれか。

これ**ぞ**求めし宝なる。 **答え：ア** **解説：**強意の係助詞「ぞ」。文末を連体形「なる」で結ぶ。係助詞。

Q72. 次の傍線部「や」の種類は、ア～カのどれか。

知る**や**知らず**や**、人の心。 **答え：ア** **解説：**疑問の係助詞「や」。「～か」と問う。係助詞。

Q73. 次の傍線部「な」の種類は、ア～カのどれか。

ゆめ、人を疑ふ**な**。 **答え：オ** **解説：**終止形「疑ふ」に付き禁止を表す終助詞「な」。「疑うな」。終助詞。

Q74. 次の傍線部「そ」の種類は、ア～カのどれか。

な散り**そ**、春の花。 **答え：オ** **解説：**「な～そ」で禁止を表す終助詞「そ」。「散ってくれるな」。終助詞。

Q75. 次の傍線部「かし」の種類は、ア～カのどれか。

必ず来べき**かし**。 **答え：オ** **解説：**文末で念押しを表す終助詞「かし」。終助詞。

Q76. 次の傍線部「しも」の種類は、ア～カのどれか。

折**しも**、時雨降りきぬ。 **答え：エ** **解説：**強意の副助詞「しも」。「ちょうどその折」。副助詞。

Q77. 次の傍線部「のみ」の種類は、ア～カのどれか。

ひとりのみ、山に住む。 **答え：エ** **解説：**限定の副助詞「のみ」。「ひとりだけ」。副助詞。

Q78. 次の傍線部「ばかり」の種類は、ア～カのどれか。

ただ泣くばかりなり。 **答え：エ** **解説：**程度・限定を示す副助詞「ばかり」。「泣くばかり」。副助詞。

Q79. 次の傍線部「よ」の種類は、ア～カのどれか。

あはれ、はかなき世よ。 **答え：カ** **解説：**詠嘆の間投助詞「よ」。語調を整える。間投助詞。

Q80. 次の傍線部「や」の種類は、ア～カのどれか。

あな、おもしろや。 **答え：カ** **解説：**詠嘆・語調を整える間投助詞「や」。係り結びは起こさない。間投助詞。

## 【第4部】入試 (Q81～Q100)

Q81. 次の傍線部「ぞ」の種類は、ア～カのどれか。

山里は冬**ぞ**さびしさまさりける。 **答え：ア** **解説：**強意の係助詞「ぞ」。文末を連体形「ける」で結ぶ。係助詞。

Q82. 次の傍線部「なむ」の種類は、ア～カのどれか。

都には春**なむ**来にける。 **答え：ア** **解説：**強意の係助詞「なむ」。文末を連体形「ける」で結ぶ。係助詞。

Q83. 次の傍線部「が」の種類は、ア～カのどれか。

日は照りたる**が**、風はげしく吹く。 **答え：ウ** **解説：**連体形「たる」に付く逆接の接続助詞「が」。活用語接続なので接続助詞。

Q84. 次の傍線部「に」の種類は、ア～カのどれか。

都を出づるに、名残こそ惜しけれ。 答え：ウ 解説：連体形「出づる」に付く接続助詞「に」。活用語接続なので接続助詞。

Q85. 次の傍線部「を」の種類は、ア～カのどれか。

頼みつるを、つれなくて過ぎぬ。 答え：ウ 解説：連体形「つる」に付く逆接の接続助詞「を」。「～のに」。活用語接続なので接続助詞。

Q86. 次の傍線部「だに」の種類は、ア～カのどれか。

光だに漏れ来ず。 答え：エ 解説：最小限・類推の副助詞「だに」。「光さえも漏れて来ない」。副助詞。

Q87. 次の傍線部「さへ」の種類は、ア～カのどれか。

病に、貧しささへ加はりぬ。 答え：エ 解説：添加の副助詞「さへ」。「貧しさまでも加わった」。副助詞。

Q88. 次の傍線部「ば」の種類は、ア～カのどれか。

秋来ぬれば、木の葉も色づく。 答え：ウ 解説：已然形「ぬれ」に付く順接の接続助詞「ば」。「～ので」。接続助詞。

Q89. 次の傍線部「とも」の種類は、ア～カのどれか。

いかに迫るとも、心は折れじ。 答え：ウ 解説：終止形「迫る」に付く逆接仮定の接続助詞「とも」。接続助詞。

Q90. 次の傍線部「もがな」の種類は、ア～カのどれか。

この嵐とどむる風ももがな。 答え：オ 解説：文末で願望を表す終助詞「もがな」。「～があればなあ」。終助詞。

Q91. 次の傍線部「ばや」の種類は、ア～カのどれか。

いま一度、花の都を見**ばや**。 答え：オ 解説：未然形「見」に付く自己願望の終助詞「ばや」。終助詞。

Q92. 次の傍線部「かな」の種類は、ア～カのどれか。

しづ心なく花の散る**かな**。 答え：オ 解説：文末で詠嘆を表す終助詞「かな」。「散ることだなあ」。終助詞。

Q93. 次の傍線部「の」の種類は、ア～カのどれか。

君の来べき宵**なり**。 答え：イ 解説：体言「君」に付き主格「君が」を示す格助詞「の」。格助詞。

Q94. 次の傍線部「と」の種類は、ア～カのどれか。

旧き友**と**、夜もすがら語らふ。 答え：イ 解説：体言「友」に付き共同を示す格助詞「と」。格助詞。

Q95. 次の傍線部「こそ」の種類は、ア～カのどれか。

ただ神に**こそ**祈りつれ。 答え：ア 解説：強意の係助詞「こそ」。文末を已然形「つれ」で結ぶ。係助詞。

Q96. 次の傍線部「のみ」の種類は、ア～カのどれか。

ただ過ぎし日を**のみ**思ふ。 答え：エ 解説：限定の副助詞「のみ」。「過ぎた日だけを」。副助詞。

Q97. 次の傍線部「て」の種類は、ア～カのどれか。

花咲**き**て、鳥また歌ふ。 答え：ウ 解説：連用形「咲き」に付く単純接続の接続助詞「て」。接続助詞。

Q98. 次の傍線部「なむ」の種類は、ア～カのどれか。

とく春の来**なむ**と待つ。 **答え：オ** **解説：**未然形「来（こ）」に付く他者願望の終助詞「なむ」。「来てほしい」。終助詞。

Q99. 次の傍線部「よ」の種類は、ア～カのどれか。

あはれ、過ぎにし古**よ**。 **答え：カ** **解説：**詠嘆の間投助詞「よ」。語調を整える。間投助詞。

Q100. 次の傍線部「に」の種類は、ア～カのどれか。

春の野にすみれを摘**む**。 **答え：イ** **解説：**体言「野」に付き場所を示す格助詞「に」。格助詞。

## 採点と振り返り

部	問題数	あなたの正答数
第1部 基礎	20	/20
第2部 標準	30	/30
第3部 応用	30	/30
第4部 入試	20	/20
<b>合計</b>	<b>100</b>	<b>/100</b>

まちがえた問題は、次の3点にもどって確認しましょう。

1. **直前の語を見る。** 体言に付く「が・を・に・して」は格助詞（イ）、活用語に付くものは接続助詞（ウ）。
2. **係り結びを確認。** 「ぞ・なむ・や・か」は連体形、「こそ」は已然形で結ぶ係助詞（ア）。
3. **文末の気持ちを読む。** 願望・詠嘆・禁止（ばや・なむ・もがな・かな・な・そ・かし）は終助詞（オ）。「や・よ・を」が語調を整えるなら間投助詞（カ）。

迷った助詞は、個別の識別ドリル（「に」「が」「して」など）に戻って復習しましょう。助詞の種類が見抜ければ、文の構造が一気に見えてきます。